

⑧あいさつ文は時候のあいさつから入るのが一般的です。

月	紋切り型（例）	やわらかくあいさつをする場合（例）
1月	厳冬の候	例年のない厳しい寒さですが...
2月	余寒の候	寒さまだ厳しい折から...
3月	早春の候	だいぶ春めいた昨今ですが...
4月	春暖の候	春もたけなわのこのごろですが...
5月	新緑の候	すがすがしい初夏の季節となり...
6月	梅雨の候	うとうしい梅雨にはいって...
7月	盛夏の候	暑さのきびしい毎日ですが...
8月	炎暑の候	立秋も過ぎたというものの涼しさにはほど遠い昨今...
9月	初秋の候	朝晩めっきりすずくなったとはいえ...
10月	秋冷の候	みのりの秋となりました...
11月	晩秋の候	朝ごと冷夏が加わって...
12月	初冬の候	歳末ご多忙の折から...

「時下ますますご隆盛...」などのように「時下」という語を使うことがありますが、これは「この頃」とか、「目下」という意味ですから、時候のあいさつに変わるものといえます。

上の表の定型句以外に、新聞の天気予報欄に洗練された表現が使われることがありますので、書き留めておくと便利です。

なお、二十四節気などの語が使われる場合には、その意味や日をよく考えて使ってください。

（例 8月であっても立秋前に「立秋も過ぎたというものの…」などといった表現を使うことのないようにしてください。）

⑨安否のあいさつは時候のあいさつに続けて書きます。次の表を基本としてアレンジしてください。

皆様各位	には	ご健勝 ご清祥 ご清適 (個人宛)	のことと の趣	お喜び申し上げます。 大慶に存じます。
貴下 貴殿	ますます	ご隆盛 ご発展 (団体宛)		の由
貴社 貴店 貴行 貴会				

⑧、⑨は次のように用います。例えば5月頃に発信するとした場合

- 〔 拝啓 新緑の候、貴社ますますご隆盛のこととお喜び申し上げます。
- 〔 拝啓 すがすがしい初夏の季節となり、皆様にはお健やかに...